

調 査 要 領

1. 調査目的 本調査は、当所管内事業所の経済動向及び現状を把握し、情報化社会に対応した企業経営の指針とするとともに、今後の経営支援の参考に資することを目的とする。
2. 調査時点 平成25年12月1日
3. 調査期間 平成25年10～12月期
4. 調査対象企業数 396企業（うち回答企業数158企業）

5. 調査対象業種

①建設業（回答企業数18企業）

建築・大工業、土木業、管工事業、とび・コンクリート業、鉄骨・鉄筋業、電気工事業、左官・屋根業、塗装業、板金業、その他

②商業・サービス業（回答企業数76企業）

卸売業、小売業、飲食業、サービス業

③製造業

機械金属関連業（回答企業数35企業）

鉄鋼業、金属製品製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業、プラスチック製造業、その他

繊維工業（回答企業数29企業）

撚糸業、織物業、染色整理業、ニット・メリヤス業、レース業、縫製業、刺繍業、その他

.....
D Iとは、ディフュージョン・インデックス（D i f f u s i o n I n d x）
の略で、このD Iの変化を分析することにより経済動向の判断を行います。

.....
このD Iは、好転企業の割合から悪化企業の割合を差引き算出し、好転が悪化を上回る場合プラス（+）となり、逆に悪化が好転を上回る場合マイナス（-）となります。

.....
D Iについては数値の水準のみならず、数値の変化がどういう方向を向いているかが重要です。
.....

1. 景況の動き

【業況DI】

今期の業況DIは、全体で－21。前期（－24）と比べ3ポイントのプラスとなった。また前年同期（－33）比では12ポイントのプラスとなった。

業種別では、**建設業＋22**（前期比＋22、前年同期比＋28）、**商業・サービス業－42**（前期比＋6、前年同期比＋7）、**機械金属製造業＋3**（前期比－11、前年同期比＋22）、**繊維製造業－26**（前期比－2、前年同期比±0）となった。

【採算DI】

今期の採算DIは全体で－29。前期（－31）と比べると2ポイントのプラス、前年同期（－38）と比べると9ポイントのプラスとなった。

業種別では、**建設業－11**（前期比＋16、前年同期比＋18）、**商業・サービス業－47**（前期比＋4、前年同期比＋2）、**機械金属製造業＋3**（前期比－2、前年同期比＋25）、**繊維製造業－30**（前期比－12、前年同期比－3）となっている。

【来期業況DI】

来期の業況予測DIは全体で－20。前期（－22）と比べると2ポイントのプラス、前年同期（－36）比では16ポイントのプラスであった。

業種別では**建設業＋13ポイント**（前期比＋34、前年同期比＋38）、**商業・サービス業－34ポイント**（前期比＋3、前年同期比＋11）、**機械金属製造業－10ポイント**（前期比－29、前年同期比＋16）、**繊維製造業－12ポイント**（前期比＋11、前年同期比＋19）となっている。

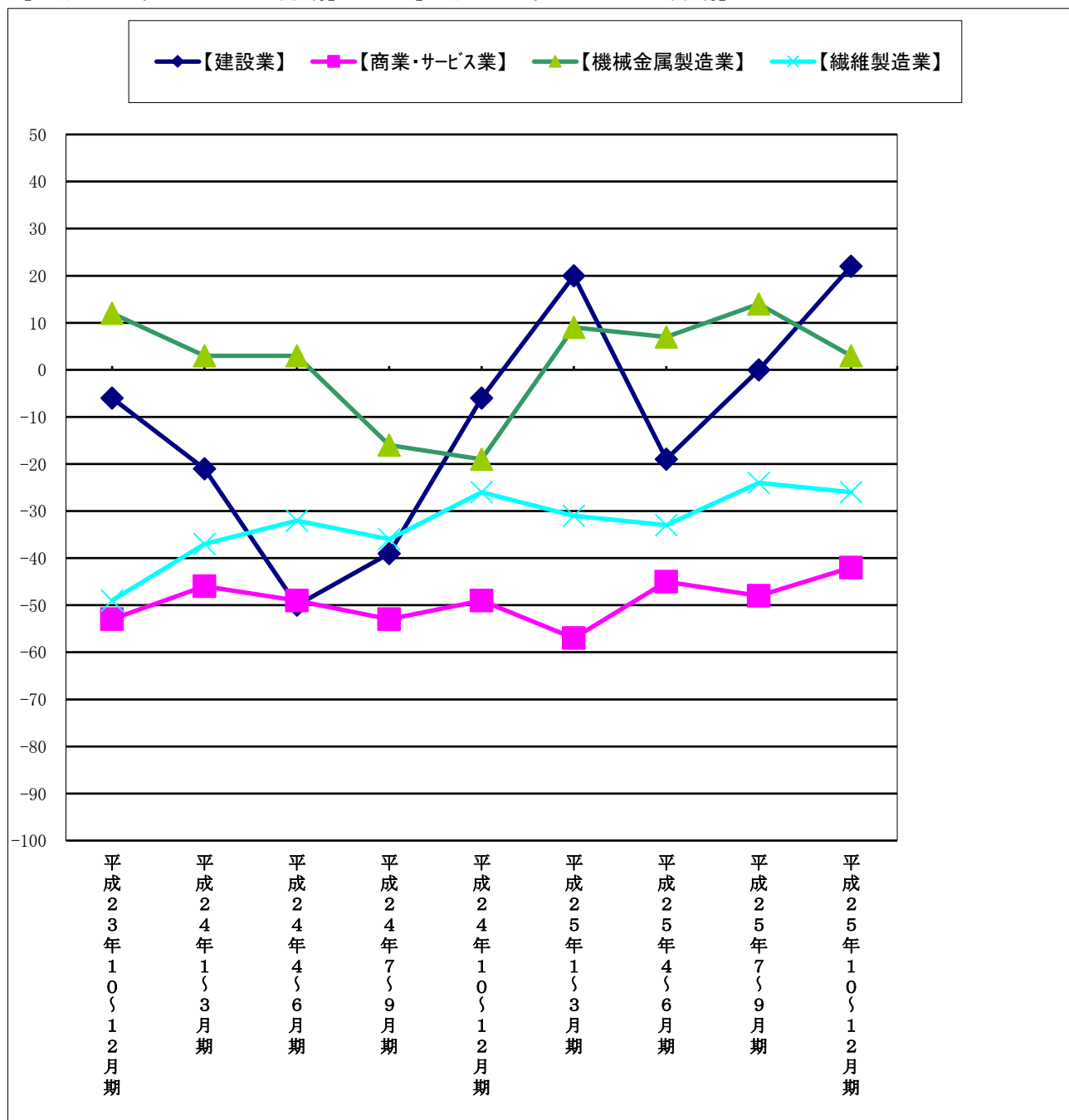
【経営上の問題点】

経営上の問題点としては、**建設業**では「熟練技術者の確保難」（14%）「材料価格の上昇」「下請業者の確保難」（12%）**商業・サービス業**では「需要の停滞」（19%）「消費者ニーズの変化への対応」「購買力の他地域への流出」（13%）、**機械金属製造業**では「製品単価の低下・上昇難」（21%）「需要の停滞」（15%）、**繊維製造業**では「製品単価の低下・上昇難」（23%）「需要の停滞」（21%）となっている。

業況DIの推移

	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
平成23年10～12月期	-6	-53	12	-49
平成24年1～3月期	-21	-46	3	-37
平成24年4～6月期	-50	-49	3	-32
平成24年7～9月期	-39	-53	-16	-36
平成24年10～12月期	-6	-49	-19	-26
平成25年1～3月期	20	-57	9	-31
平成25年4～6月期	-19	-45	7	-33
平成25年7～9月期	±0	-48	14	-24
平成25年10～12月期	22	-42	3	-26

[平成23年10～12月期] から [平成25年10～12月期]



2. 業種別の今期の業況・来期の業況予測

【建設業】

●今期業況

今期の業況D Iは+22。前期比は+22、前年同期比は+28となった。

業種別では**建築・大工業〔+38〕、土木業〔-50〕、電気工事業〔+75〕、その他〔-50〕**であった。

●来期業況

来期業況予測のD Iは+13。前期比で+34、前年同期比では+38ポイントであった。

【商業・サービス業】

●今期業況

今期の業況D Iは-42。前期比は+6、前年同期比は+7ポイントであった。

業種別では、**卸売業〔-36〕、小売業〔-44〕、飲食業〔-14〕、サービス業では〔-53〕**となっている。

●来期業況

来期業況予測のD Iは-34。前期比+3、前年同期比では+11ポイントとなった。

【機械金属製造業】

●今期業況

今期の業況D Iは+3。前期比では-11、前年同期比では+22ポイントであった。

業種別では、**鉄鋼業〔±0〕、金属製品業〔±0〕、一般機械器具業〔±0〕、電気機械器具業〔±0〕、輸送用機械器具業〔+29〕、精密機械器具業〔+33〕、プラスチック製造業〔±0〕、その他〔-22〕**となっている。

●来期業況

来期業況予測のD Iは-10。前期比-29、前年同期比+16ポイントとなった。

【繊維製造業】

●今期業況

今期の業況D Iは-26。前期比では-2、前年同期比では±0ポイントであった。

業種別では、**燃糸業〔-50〕、織物業〔±0〕、染色整理業〔-50〕、ニット・メリヤス業〔±0〕、レース業〔-100〕、縫製業〔-33〕、刺繍業〔-40〕**となっている。

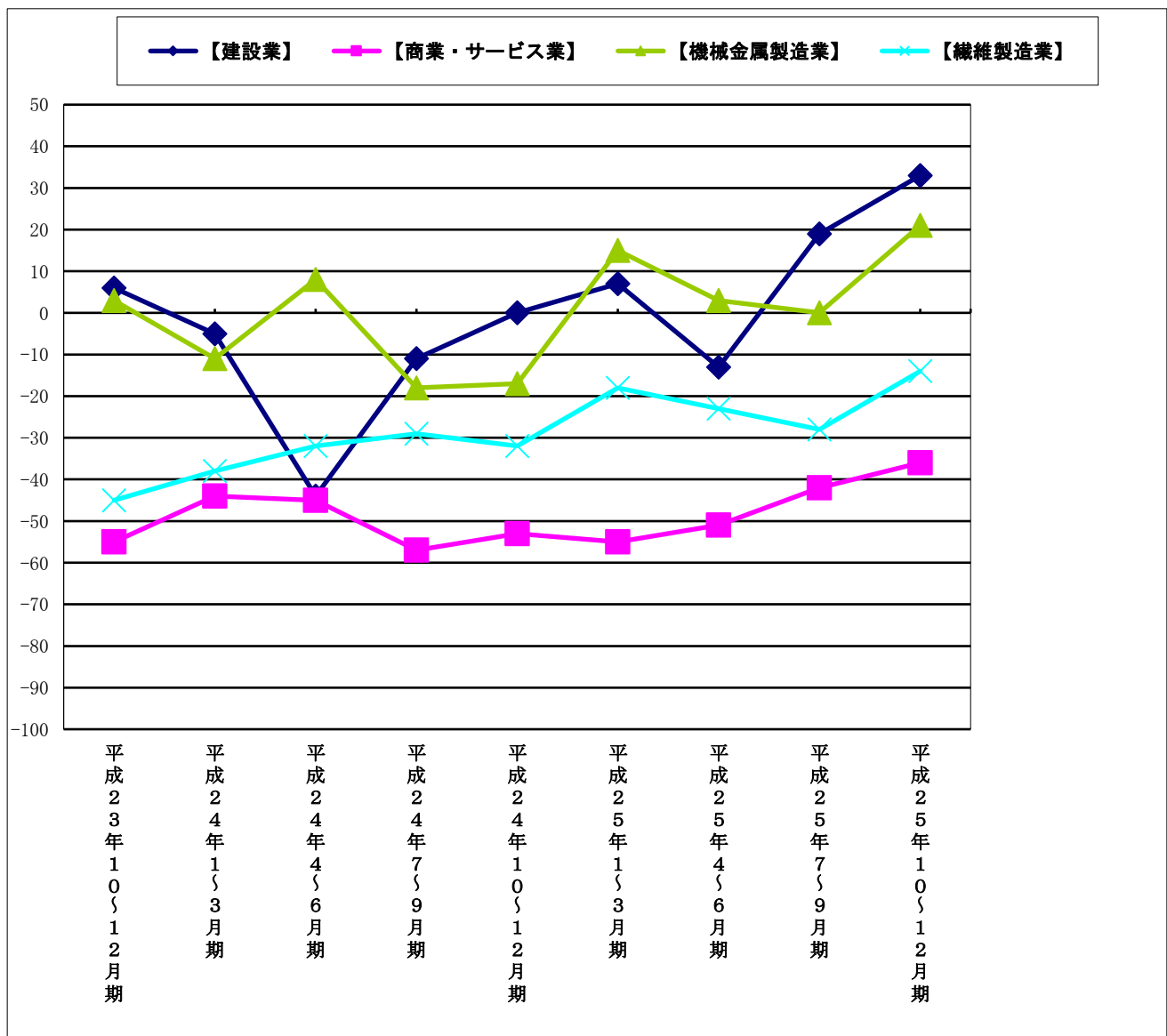
●来期業況

来期業況予測のD Iは-12。前期比+11、前年同期比+19ポイントとなった。

売上額（完成工事額）DIの推移

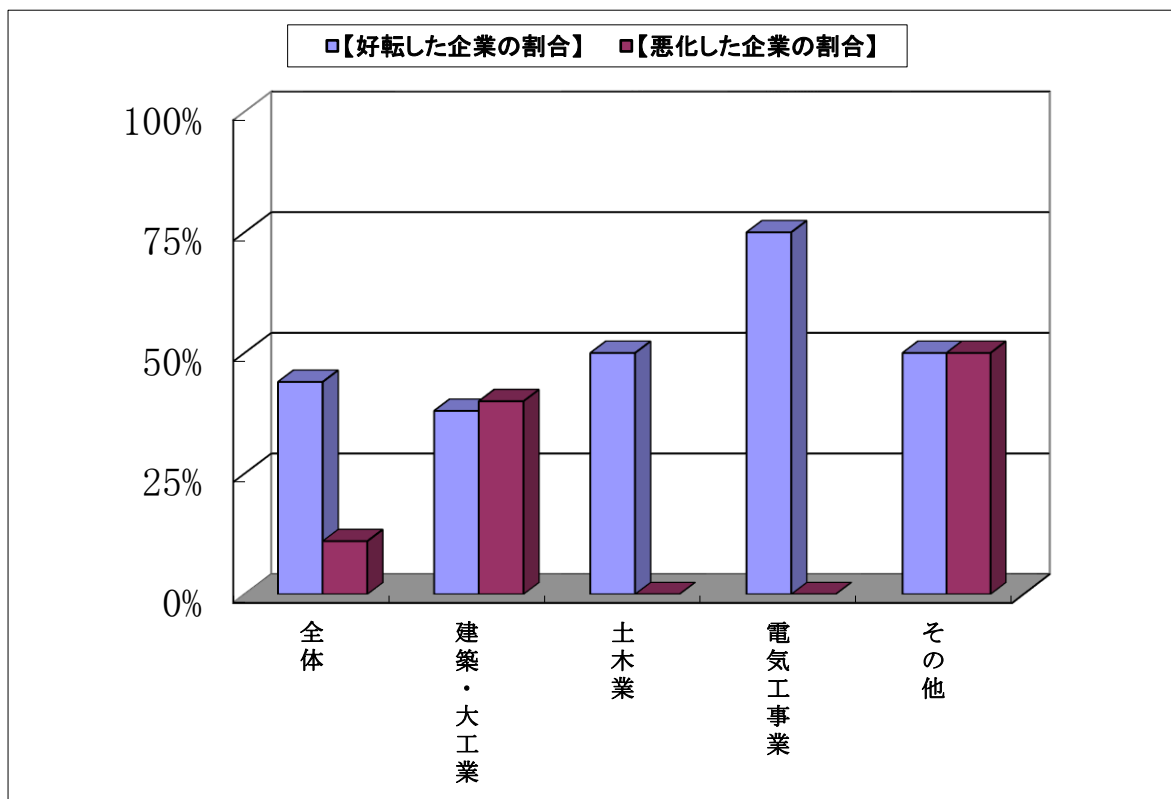
	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
平成23年10～12月期	6	-55	3	-45
平成24年1～3月期	-5	-44	-11	-38
平成24年4～6月期	-44	-45	8	-32
平成24年7～9月期	-11	-57	-18	-29
平成24年10～12月期	±0	-53	-17	-32
平成25年1～3月期	7	-55	15	-18
平成25年4～6月期	-13	-51	3	-23
平成25年7～9月期	19	-42	0	-28
平成25年10～12月期	33	-36	21	-14

[平成23年10～12月期] から [平成25年10～12月期]

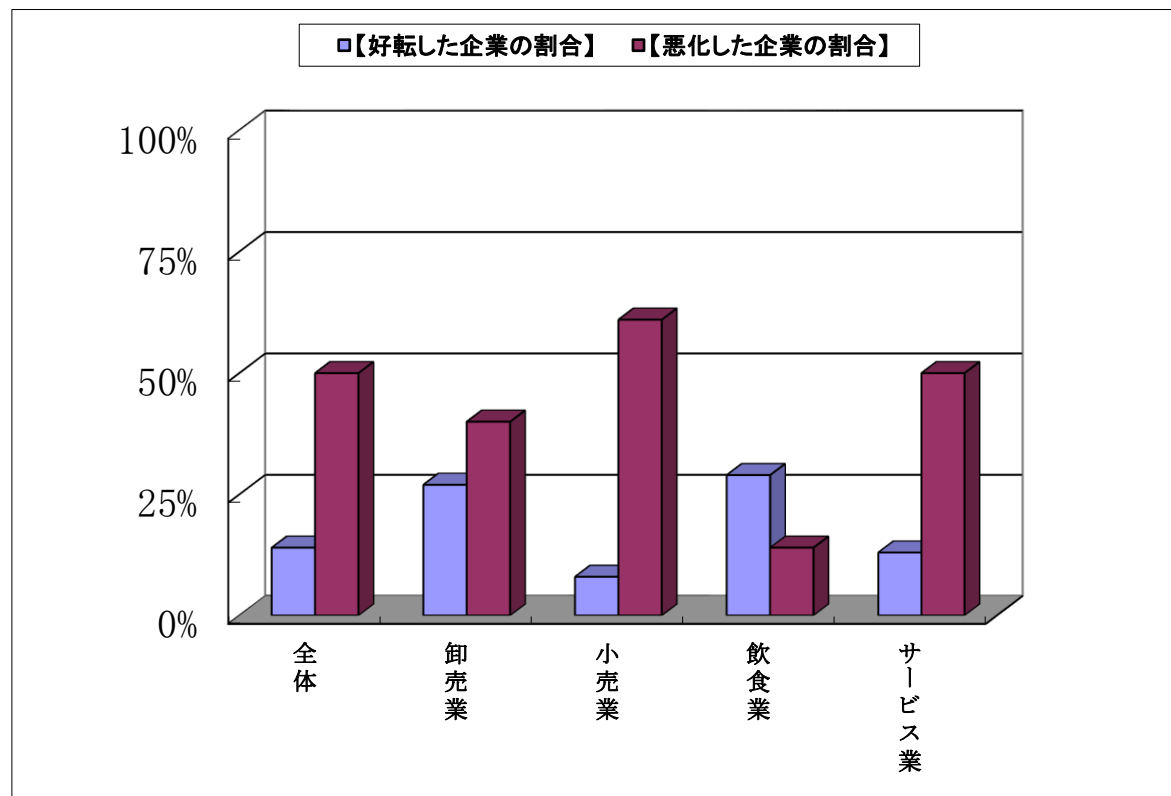


業種別売上額（完成工事額）の状況〈前年同期比〉

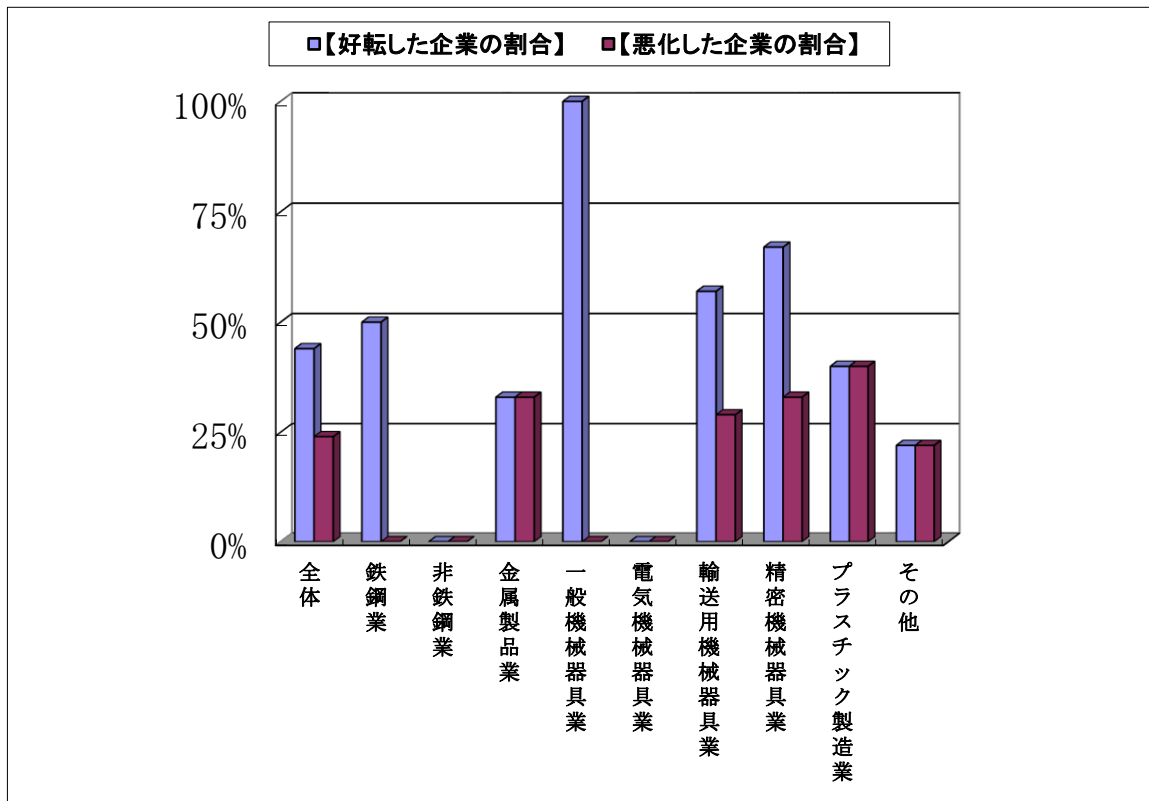
【建設業】



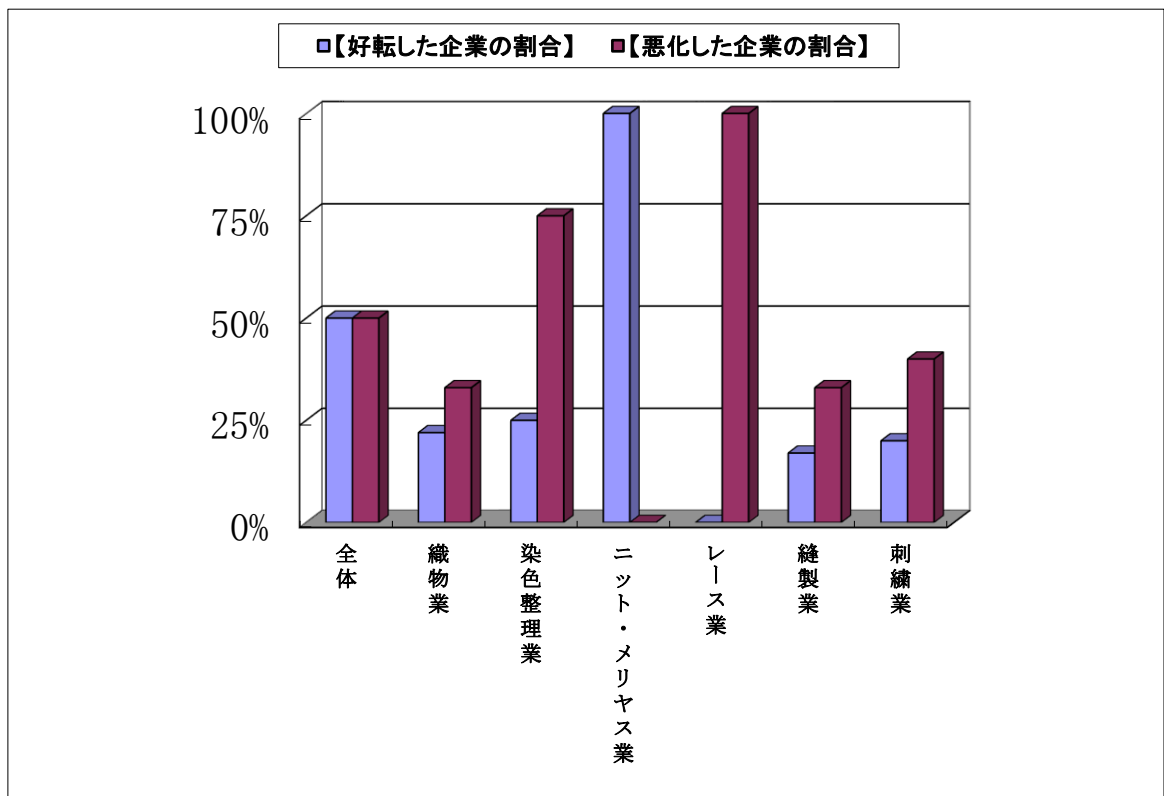
【商業・サービス業】



【機械金属製造業】



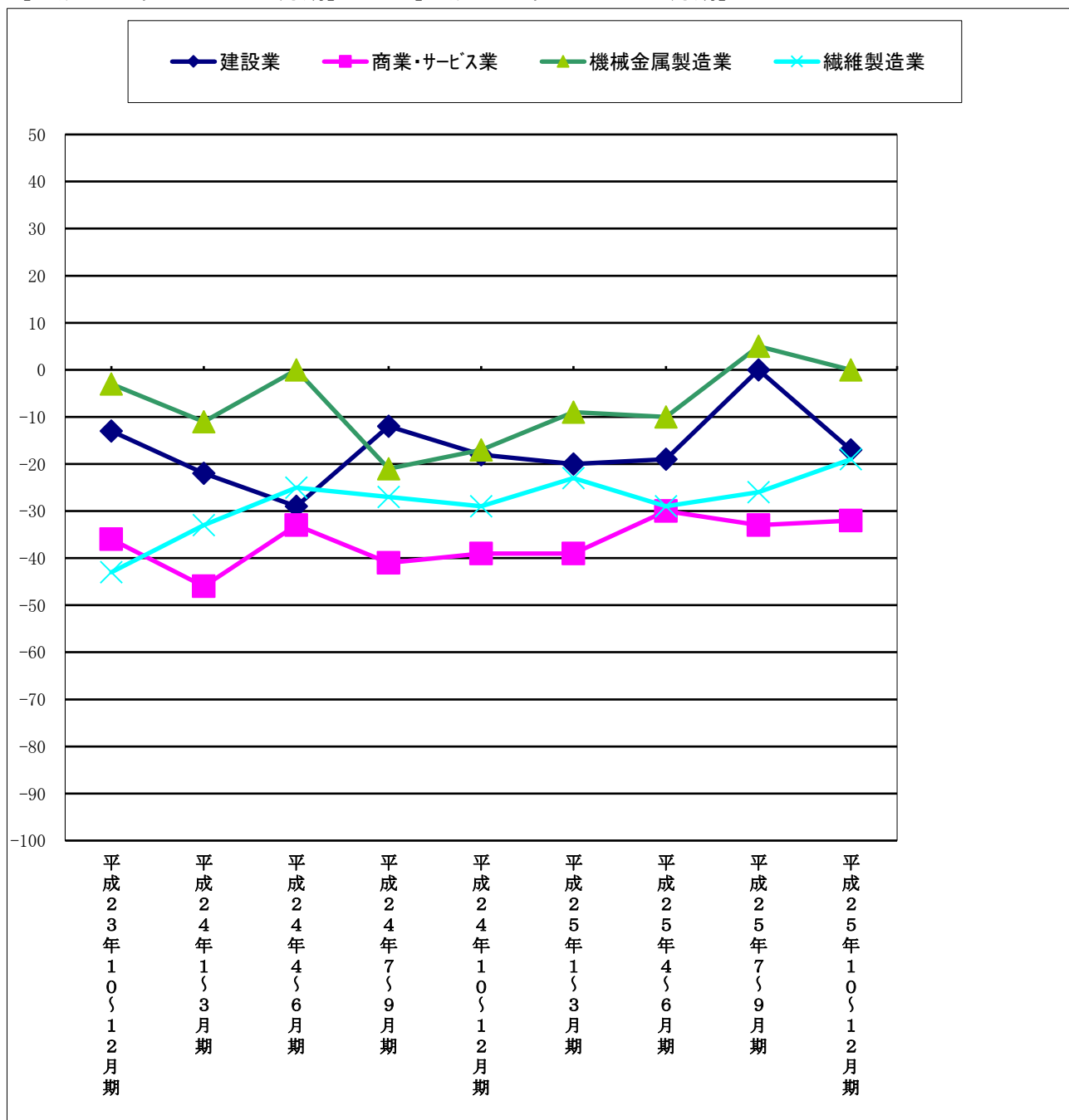
【繊維製造業】



資金繰りDIの推移

	建設業	商業・サービス業	機械金属製造業	繊維製造業
平成23年10～12月期	-13	-36	-3	-43
平成24年1～3月期	-22	-46	-11	-33
平成24年4～6月期	-29	-33	0	-25
平成24年7～9月期	-12	-41	-21	-27
平成24年10～12月期	-18	-39	-17	-29
平成25年1～3月期	-20	-39	-9	-23
平成25年4～6月期	-19	-30	-10	-29
平成25年7～9月期	±0	-33	5	-26
平成25年10～12月期	-17	-32	±0	-19

[平成23年10～12月期] から [平成25年10～12月期]



今期直面している経営上の問題点

	1位(%)	2位(%)	3位(%)	4位(%)	5位(%)
建設業	熟練技術者の確保難 14.0	材料価格の上昇 12.0	下請業者の確保難 12.0	民間需要の停滞 10.0	下請単価の上昇 10.0
前期	6位 6.4	4位 10.6	5位 8.5	2位 12.8	5位 8.8
前年同期	7位 4.1	7位 4.1	6位 4.2	2位 20.4	5位 6.1
商業・サービス業	需要の停滞 18.8	消費者ニーズの変化への対応 12.6	購買力の他地域への流出 12.6	販売単価の低下・上昇難 8.9	材料等仕入単価の上昇 8.9
前期	1位 22.5	2位 13.4	3位 11.5	5位 7.2	5位 7.2
前年同期	1位 22.5	2位 13.8	3位 11.9	3位 11.9	8位 3.7
機械金属製造業	製品単価の低下・上昇難 20.5	需要の停滞 14.5	生産設備の不足・老朽化 10.8	人件費の増加 9.6	製品ニーズの変化への対応 9.6
前期	1位 20.5	2位 16.9	5位 9.6	10位 0.2	3位 12.0
前年同期	1位 24.2	2位 19.8	3位 9.9	14位 0.1	4位 6.6
繊維工業製造業	製品単価の低下・上昇難 22.5	需要の停滞 21.3	原材料価格の上昇 13.8	生産設備の不足・老朽化 8.8	製品ニーズの変化への対応 8.8
前期	2位 18.6	1位 21.6	3位 13.4	5位 7.2	4位 11.3
前年同期	2位 19.4	1位 25.2	11位 0.1	4位 7.8	3位 9.7

今期の従業員数D I

	建設業	商業・サービス業	機械金属製造業	繊維製造業
平成23年10～12月期	20	-11	-13	-13
平成24年1～3月期	6	-3	5	3
平成24年4～6月期	0	-1	0	-9
平成24年7～9月期	-13	-11	-6	-16
平成24年10～12月期	0	-8	-12	-6
平成25年1～3月期	7	-5	16	-6
平成25年4～6月期	6	-11	23	-10
平成25年7～9月期	6	-4	8	-9
平成25年10～12月期	-6	-9	16	-15

事業所からのコメント（直面している問題点など）

【建設業】

- ・大手企業に仕事が集中。それ以下の企業は前年比とあまり変わらない状況になっている
- ・工事終了後から入金されるまでの時間が長すぎる
- ・昼業界は民間需要の停滞

【商業・サービス業】

- ・アベノミクスの影響は桐生には届かない
- ・お客様に老人が多く、老人ホームに入居されたり亡くなられたりで先細り。新しい客はあまり望めない
- ・消費税の上昇をチャンスに変えて来期は売上増を期待してみたいと思う
- ・アベノミクス以後来客数がきわめて減少し主力商品が販売不振。利幅の少ない副業的商品も大手との販売競争に勝てず不振傾向になった。
- ・昨年と比較すれば多少は良くなっているが、小売的には厳しい状況下にある。大企業は円安株価上昇でリーマンショック、3.11 のデフレ不況を脱出しつつあるが、我々零細企業は地方経済の衰退が響いている。10～12 月は歳末で状況が前年より良かっただけで全体としては不況が続いている。
- ・小売が非常に厳しいので卸問屋とメーカーの再編淘汰が進んでいる。東京の間屋街のマンションへの変貌が継続している
- ・不況の長期化

【機械金属製造業】

- ・外国製品の増加
- ・従業員の高齢化
- ・長期的な受注状況の把握が難しい
- ・消費税増税による変化が全く読めない